

『授業連携報告書』

学校名	三重県四日市市立笹川中学校				
授業のテーマ	環境問題を地球規模で考える。				
目標(授業連携をした目的等)	JAXAの仕事が身近な生活に結び付いていることを知り、宇宙の世界を深く知るきっかけとする。キャリア教育の一環として、進路の選択肢を増やす。				
実施対象	学年	中2	4	クラス	合計 146 名
授業科目	総合学習	科目「その他」の場合記入)			
単元	環境、キャリア教育	授業日	12	月	6~7 日

授業連携の前後の授業内容について

前	理科:人工衛星「ひまわり」、天気図等 総合:職業観について	社会:自然災害について	
後	・地球環境のために、今後どんなことに気を付けて生活していくか、自分ができることを考える。 ・自分の進むべき道について、あらためて考え、学校生活を見直す。		
時間配分	学習内容・活動	児童・生徒の様子	学校(先生)の役割・活動
導入 20分	<p>≪1時間目≫ 本時の学習の内容の確認 ①JAXAの仕事について ②宇宙について</p>	<p>活動内容を把握するために、話をしっかり聞いていた。</p> <p>宇宙は100kmくらいからということに驚いていた。</p>	<p>本時の学習内容を確認するとともに、日常生活に関連する内容であることなどしっかり話を聞くよう伝えた。</p>
展開 70分	<p>①人工衛星について ・基本知識、しくみ、種類、人工衛星紹介 ②地球環境のためにどのようなことが必要なのか考える。 ≪2時間目≫ ③自分ならどんな人工衛星を作りたいか、考える。 ④グループ内で共有・意見交換する。 ⑤自分オリジナルの人工衛星または探査機をタブレットで描く。 ⑥できた作品を「発表ノート」で共有する。 ⑦各班で一つ選び、「発表ノート」で提示しながらクラスで共有する。</p>	<p>小さいながらもさまざまな働きをするもの、地球規模のデータを取るもの、など、人工衛星が身近な生活に必要なものであると、知ることができた。</p> <p>タブレットの描画ツール等を使って自分が考える人工衛星を描いた。</p> <p>各班から代表の生徒が人工衛星を紹介した。それぞれオリジナルな役目があることで、鈴木さまから今後の可能性について、コメントをいただいた。</p> <p>他の班のアイデアに感心していた。</p>	<p>タブレット「発表ノート」での共有について、確認した。</p>
まとめ 10分	<p>共有した人工衛星に関して、今後の可能性の話聞く。 今困っていることに活用できる可能性があること。だが、地球環境のためには、自分たちの努力でいらないものを外に出さないことが大切。</p>	<p>初めは難しい内容の話もあったが、各班の発表に関するコメントを聞きながら、宇宙・人工衛星が身近に感じられたようだ。</p>	<p>最後のまとめとお礼で授業を終えた。</p>

授業連携の感想・メモ

遠い宇宙のこと、というイメージではなく日常生活に人工衛星が活用されていることを学習できた。また、生徒の発表作品に前向きなコメントをいただけて、生徒は充実感を得ることができた。視覚障害のある人に役立つ人工衛星の話から、12月6日ニュースとなった、「はやぶさ2」に関する話まで興味深く聞くことができた。また、「はやぶさ2」の成功や成果が「はやぶさ」の失敗から得た経験の上になりつつことから「失敗することはだめなことではなくて、失敗を恐れず何事もチャレンジする気持ちを忘れてはいけない」という、今後の生活に生かしていけるメッセージをいただけて、生徒は前向きな気持ちになった。

授業連携アンケート

①連携依頼票にご記入の「授業連携のねらい」は達成されましたか？	はい
②授業連携の前後で、児童・生徒の学習姿勢等に変化は見られましたか？	はい
※②で「はい」とお答えの方、どのような変化がみられたか具体的に教えてください。	
自分たちの人工衛星を考えたときに宇宙ホテル、宇宙オリンピックなどオリジナルな発想を持つ中で、それぞれに肯定的なコメントをいただいたことで自己肯定感が高まり、学習態度が意欲的になった生徒が増えた。	
※②で「いいえ」とお答えの方、その理由を教えてください。	